

「世界の3大宗教：どこに真理があるか」

イントロダクション

1. ハーベスト USA 放映 20 周年記念で、セミナーを企画した。
2. 世界の3大宗教を理解せずに、国際問題を論じることは不可能。
3. 対決を回避しようとして「相対主義」に立つのはよくない。
 - (1) 人間関係については寛容
 - (2) 真理については厳格
 - (3) イースターを祝った直後の集会：どこに真理があるかを考えよう。
4. このメッセージで、3つの質問に答える。
 - (1) ユダヤ教の神、キリスト教の神、イスラム教の神は、同じか？
 - (2) ユダヤ教の救い、キリスト教の救い、イスラム教の救いは、同じか？
 - (3) キリスト教は、私たちに何を与えてくれるのか？

I. ユダヤ教の神、キリスト教の神、イスラム教の神は、同じか？

1. ユダヤ教

- (1) 神の啓示に対して、常に2つの応答があった。
 - * 反抗と従順
 - * 肉のイスラエルと霊のイスラエル (イスラエルの残れる者)
 - * 前者は後者よりも圧倒的に多かった。
- (2) ユダヤ人の性格を変えたのは、バビロン捕囚：偶像礼拝が消滅した。
- (3) 帰還期以降、現在ユダヤ教と言われている形が誕生した：律法学者エズラ
- (4) イエス時代のパリサイ人が、その継承者
- (5) 神殿崩壊以降、ユダヤ教はラビ的ユダヤ教になり、現在に至る。

2. キリスト教

- (1) イエスは旧約聖書の成就として来られた。
- (2) イエスの福音は、旧約聖書の成就であり、極めてユダヤ的なものである。
- (3) 初期の信者は、すべてユダヤ人であった。
- (4) ユダヤ人の指導者たちは、イエスを拒否し、聖書信仰とは別の方向に進む。
- (5) やがて、異邦人伝道が進む。
- (6) 紀元70年にエルサレムが滅びる。
- (7) それ以降、異邦人中心の教会が発展する。
- (8) MJたちは、ユダヤ人からも異邦人クリスチャンからも疎外される。
- (9) 異邦人中心のキリスト教は、片肺飛行の状態にある。
- (10) 教会の歴史は、分裂の歴史でもある。

3. イスラム教

- (1) 7世紀前半、アラビア半島で誕生
- (2) 約360の偶像と、12万4千人を超える預言者がいた。
- (3) マホメットは偶像礼拝を嫌った。
- (4) ユダヤ教徒とキリスト教徒に友好的
- (5) 後に、敵対的姿勢を取る
- (6) アブラハムの一神教は、イスラム教において復活したとの主張
- (8) 経典

*コーラン

神(アッラー)がおおよそ20年にわたってマホメットに与えた啓示
彼の死後、人々が記憶していたものを結集し、定本確定。

*スンナ(マホメットの言行録)

*ハディース(伝承)

(9) コーランは難解

- *イスラム教徒にとっては、神の永遠なることば
- *イスラム教の基本は「神への服従」、「コーランのことばに従うこと」
- *物語性がない。歴史的背景が分らないと、理解できない。
- *旧新約聖書の知識を前提としている。
- *矛盾と思われるような箇所が多い。
- *信条：神、罪、救い、死後の裁き、天国と地獄
- *倫理：行動原理
- *法的規範：神に対するものと、人間に対するもの

4. 3大宗教の相関関係

- (1) イスラム教は、後に出たものほどよいとする。
- (2) 一般的に日本人の理解：3大宗教の神は、同じ神である。
- (3) ユダヤ教は脱線しているが、最終的には復帰する。
- (4) キリスト教は片肺飛行であるが、なくなっていた肺が戻りつつある。
- (5) イスラム教はカルト。光の部分と、闇の部分を合わせ持つ。

II. ユダヤ教の救い、キリスト教の救い、イスラム教の救いは、同じか？

1. ユダヤ教

- (1) 共通理解として、ユダヤ人であれば救われているとの考え。
- (2) 律法を遵守することで、天国の位を確保できる。

2. イスラム教

(1) イスラムの基柱

*信仰告白 アッラーのほかには神はなく、マホメットはその使徒である。

*礼拝 日に5回神を礼拝する。

*喜捨 貧困者への施し

*断食 第9月、ラマダン月は、日の出から日没まで断食する。

*巡礼 一生に一度はメッカを巡礼する。

(2) 基本的には、業による救い

(3) ジハードで殉教すると、パラダイスに行ける。

3. キリスト教

(1) ヨハネ3：16

(2) 神の側の責任

(3) 人間の側の責任

(4) 信仰により、恵みによって救われる。

Ⅲ. キリスト教は、私たちに何を与えてくれるのか？

1. 安心して死ぬる。

(1) 安心して死ねないことが、長寿時代の大きな問題。

(2) 人生で最大の不幸は、安心して死ねないこと。

(3) 死ぬことは、さほど悪いことではない。

(4) キリスト復活の可能性は97パーセント

(オックスフォード、リチャード・スワインバーン教授)

(5) 私たちは、弟子たちの証言によって信じる。

2. 生き方が変わる。

(1) ゴールから今を見る（中嶋プロの話。ピンから戦略を練る）。

(2) ゴールよりもプロセスを楽しむ。

(3) 「永遠の今」を生きる。

3. 人生の目標が定まる。

(1) I コリント 13：13 愛

(2) キリストに似た者になる。

(3) 神を賛美するにふさわしい民となる。